



※本資料は3月2日にスイスで発表されたプレスリリースの日本語抄訳版です。  
詳細な情報は下記より英語原文をご覧ください。

<https://goo.gl/6C0Czf>

## アデコ 2016 年第 4 四半期は成長を改善

– 2016 年は堅調な成果：将来への投資を行うとともに余剰資本を還元 –

[2017 年 3 月 2 日 スイス・チューリッヒ]

### 2016 年第 4 四半期サマリー

- 営業日数調整後の既存事業売上高<sup>※1</sup>は前年同期比 6%増と、2016 年第 4 四半期の同 4%増から増加
- 粗利率は、特出した成績を残した 2015 年第 4 四半期に比較して 40bps 減
- コストを確実に管理し、FTE 換算の従業員数と一時的要因を除く<sup>※2</sup>販売管理費がそれぞれ前年同期比 2%増と 3%増

### 2016 年度サマリー

- イタリア、イベリア、および世界のその他の地域における強力な成長とフランスにおける回復により、既存事業売上高が前年比 4%増
- 一時的要因を除く EBITA<sup>※3</sup> 利益率は 5%：利益率でリーダーシップを維持しながら将来へ投資
- 当期純利益は 7 億 2300 万ユーロ
- 一株当たり配当案は 2.40 スイスフラン、3 億ユーロの株式買い戻しプログラムを本日発表
- デジタル戦略をより一層推し進め、10 以上の革新的な新しいソリューションを開発中
- 第 2 四半期における Penna の買収、第 3 四半期におけるロシア、ウクライナ、ベネズエラでの投資の引き揚げ、第 4 四半期における Beeline と IQ Navigator の合併によりポートフォリオを強化

### 2017 年度

- 1 月と 2 月の営業日数調整後の既存事業売上高は 4~5%増
- 2017 年 4 月より、北アメリカと UK およびアイルランドにおける事業を統合し、General Staffing と Professional Staffing のビジネスラインによって管理

### アデコグループ CEO、アラン・ドウアズは次のようにコメントしています。

「33,000 人以上の従業員と世界 70 万人以上のアソシエイトの貢献により、アデコグループは 2016 年度第 4 四半期および 2016 年度に堅調な成果を残すことが出来ました。2016 年は、他社と比較した相対的な成長を改善し、当社の EBITA 利益率のリーダーシップを保つとともに良いキャッシュフローを生み出しました。また、すべてのステークホルダーに対してわれわれの長期的なビジョンを実現できるよう、必要な手段を講じています。

いま、新しい仕事の世界が出現しようとしています。それは、アデコグループにとって、素晴らしい機会をもたらします。この機会を確実に捕えるために、当社は「Perform（実行）、Transform（変化）、Innovate（変革）」に取り組みます。「Perform（実行）」により、現在のオペレーションを強化し、競争力をさらに高めます。「Transform（変化）」により、当社の持つソリューションと顧客企業、求職者、アソシエイト、そして従業員に提供する体験を深化させます。そして「Innovate（変革）」により、移り変わる仕事の世界で新たな機会を捕えるための新しいアプローチと能力を開発し、獲得します。この戦略的アジェンダにより、当社は売上高の成長を推進し、営業利益率を拡大して強力なキャッシュフローを生み出すことができ、スルー・ザ・サイクルの財務目標と一致します。

当社は、事業に投資し、余剰資本を株主へ還元するという継続的なコミットメントの中で、このアジェンダを追及しています。Annual General Meeting (AGM) 2017 において、取締役会は株主に対し、2016 年の調整後一株当たり利益の 50% である 2.40 スイスフランを一株当たり配当としてを提案します。当社の好調な財務状況を鑑み、取締役会は 3 億ユーロの株式買い戻しプログラムを開始することも決定しました」



\*1：既存事業売上高とは米国会計基準以外の基準で、為替変動、M&A、事業部売却の影響を除く

\*2：2016年の販売管理費とEBITAは、2016年第4四半期の800万ユーロと2016年度3600万ユーロの一時的要因を含む。2015年の販売管理費とEBITAは、2015年第4四半期の4800万ユーロと2015年度の6600万ユーロの一時的要因を含む

\*3：EBITAは米国会計基準以外の基準で、償却前営業利益、のれん、および無形固定資産の減損を含む

### <主な数値>

#### 2016年第4四半期の損益計算書情報のサマリー

単位： 100万ユーロ	2016年 第4四半期	2015年 第4四半期	変化率(%)： 報告数値	変化率(%)： 既存事業成長率
売上高	5,869	5,672	3%	5% <sup>*4</sup>
売上総利益	1,106	1,091	1%	1%
EBITA利益 (一時的要因を除く)	300	310	-3%	-3%
EBITA利益	292	262	12%	12%
当期純利益	216	184	17%	
希釈EPS(ユーロ)	1.26	1.07	18%	
一株当たり配当 <sup>*5</sup> (スイスフラン)				
粗利率	18.8%	19.2%	-40bps	-60bps
EBITA利益率 (一時的要因を除く)	5.1%	5.5%	-40bps	-40bps
EBITA利益率	5.0%	4.6%	40bps	30bps

#### 2016年度の損益計算書情報のサマリー

単位： 100万ユーロ	2016年度	2015年度	変化率(%)： 報告数値	変化率(%)： 既存事業成長率
売上高	22,708	22,010	3%	4%
売上総利益	4,276	4,179	2%	2%
EBITA利益 (一時的要因を除く)	1,132	1,147	-1%	-1%
EBITA利益	1,096	1,081	1%	1%
当期純利益	723	8	n.m.	
希釈EPS(ユーロ)	4.24	0.05	n.m.	
一株当たり配当 <sup>*5</sup> (スイスフラン)	2.40	2.40	0%	
粗利率	18.8%	19.0%	-20bps	-40bps
EBITA利益率 (一時的要因を除く)	5.0%	5.2%	-20bps	-30bps
EBITA利益率	4.8%	4.9%	-10bps	-20bps



## 2016年第4四半期のキャッシュ・フローおよび純負債情報のサマリー

単位： 100万ユーロ	2016年度	2015年度	変化率(%)： 報告数値	変化率(%)： 既存事業成長率
利払いおよび納税前のフリー・キャッシュフロー <sup>※6</sup> (FCFBIT)	400	345		
フリー・キャッシュフロー (FCF)	308	270		
純負債 <sup>※7</sup>	887	1,039		
未払い日数	52	52		
現金換算 <sup>※8</sup>	83%	87%		
EBITDAへの純負債 <sup>※9</sup>	0.7x	0.8x		

## 2016年度のキャッシュ・フローおよび純負債情報のサマリー

単位： 100万ユーロ	2016年度	2015年度	変化率(%)： 報告数値	変化率(%)： 既存事業成長率
利払いおよび納税前のフリー・キャッシュフロー <sup>※6</sup> (FCFBIT)	934	995		
フリー・キャッシュフロー (FCF)	611	702		
純負債 <sup>※7</sup>	887	1,039		
未払い日数	52	52		
現金換算 <sup>※8</sup>	83%	87%		
EBITDAへの純負債 <sup>※9</sup>	0.7x	0.8x		

\*4：2016年第4四半期の既存事業の売上高の成長は前年同期比4%増、もしくは営業日数調整後で6%増

\*5：取締役会により提案された2016年の一株当たり配当

\*6：フリー・キャッシュフローは米国会計基準ではない尺度で、営業活動からのキャッシュフローから設備投資を控除したもの

\*7：純負債は米国会計基準以外の基準で、短期および長期の借入金から現金、現金同等物、および短期投資を控除したもの

\*8：現金換算は米国会計基準以外の基準で、直近四半期のFCFBITを直近四半期のEBITDAで割ったものを四捨五入して計算

\*9：EBITDAへの純負債は米国会計基準以外の基準で、期末時点での純負債を一時的要因を除いた直近四半期のEBITDAで割って減価償却費を加えたもの

## 2016年第4四半期の日本の状況

日本での売上高は3億3,000万ユーロと横ばいであり、プロフェッショナル・スタッフィングは引き続き堅調に成長しました。EBITDAは2,100万ユーロ、EBITDA利益率は6.4%で、2015年第4四半期の一時的要因を除くEBITDA利益率と比較して40bps増加しました。

## 【本件に関するお問い合わせ先】

アデコ株式会社 Communication & Branding 部

Tel. 03-6743-8085